七月五日　夕刊

常磐毎日新聞

日刊

定價一ケ月金五拾錢　郵税五厘
廣告料五號十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

# 行く川の流れ

眞繼雲山

私の生國は丹波の山奥であるが、今では熊も鬼も出ない、栗は昔から名物であり栗飯ばかり食はされるために「栗飯を食はすぞ」といれると泣く子も泣きやむといふ話を他國では取り沙汰するがなんの、どうして今では栗飯は滅多に食へない御馳走の部類に屬する。

今から四十何年か前に私の老父は私の出生記念として、村端づれの「稻の谷」といふ山の中腹に杉苗を植林しておいてくれた、父はその當時卅七才の働き盛りであつたからその植林を中心にして田を買ひ畑を開き、一かどの眞繼城一廓を築き上げた。

未來星うつり年かはりて先の植林が四十年後には鬱々として天を摩し、晝なほ暗い大森林となつた、その杉林の下が風情を添へる竹藪となつてをつ山の中腹杉林の中央が南向の平地となつてゐて、明るい南日を受ける、人煙を絶した深山を負ふてゐるために落葉をくゞる流れは玉よりも清い、私は故山に歸る毎に書物と辨當とさうして柴刈鎌とを携へて、この杉林に入り柴をつくるのが唯一の自然への契合であつた、山麓には栗林あり柿の木二三本あり畑地からは芋も出る、深淵といふ程ではないが竹藪をへだてゝ村の小川が岩を嚙み碧水をなして、あなとらば川魚に乏しくない、夏ならば水浴にも頃合である。

私に功成り名遂げるといふ日の來る筈はない（それを求めてゐないのだから）左れば行く〳〵はこの杉林の中央、平坦の地を卜して草庵を結び、昔の物語り本にでもあるやうな隱者の生活をしてみたいと考へてゐた、どうかお笑ひ下さるべし、私は疾くの昔から代議士に成らうとも大臣に成りたいとも祈らずにさうした隱棲の畫懸が、私の理想鄕であつたのである。

ところが春秋いくたびかめぐりて老父は寄る年波には勝てず築き上げた一代の家產を繼承する筈の家兄は父のそれ以上に朝鮮で成功しかへつてゐたが巨萬の財が出來た頃にポキッと中年に仙界した老父から三代目の孫にあたる何太郎は亡父に打つて變つた俊才で、十六七の頃からカフェーの白粉を見ねば夜が明けぬといふ名うつての不良少年の隊長田の二三反は半年足らずで仕末するほどの豪傑、そんなこんなで曩き頃故山へ歸省してみると私が宿年の理想鄕たりし稻の谷の杉林は、綺麗に賣り拂はれて跡方もない坊主山に變つてゐたのには、さすが坊主志願の私も啞然たること久しかつた。

敢へて源平盛衰記を讀むまでもなく、人一代の短いうに押し寄せる成敗といふも榮落といふも、まことにうたかたの夢の跡ならずや人間に壽命があるばかりか田にも山にも杉林にさへ壽命がある。桑田變じて海となり、はまぐり化して雀となるくらゐはお茶の子サイ〳〵であると知れ、鴨長明は方丈記の冒頭に家にも壽命のあるを記して曰ふ

行く川の流れは絶えずしてしかも本の水にあらず
よどみに浮ぶ泡沫はかつ消え、かつ結びて久しく留まることなし、世の中にある人と住家とまた斯くの如し、玉敷の都のなかに棟をならべ、甍をきそへる尊き卑しき人の住居は代々を經て盡きせぬものなれど、これをまことかと尋ぬれば昔ありし家は稀れなり、或ひは去年に破れて今年は造り、或ひは大家滅びて小家となる、住む人もこれに同じ處もかはらず、人も多かれどいにしへ見し人は二三の人が中に僅かに一二人なり朝に死し夕べに生るならひたゝ水の泡にぞ似たりける知らず生れ死ぬる人、何方より來りていづかたへ去る……。

大和の法隆寺は日本最古の建築物にして一千餘年を保ち得たりと誇るも知らずアト何萬年の形體を保ち得べしや、世は危脆なり牢强なるものあることなし私は今にして鴨長明を讃嘆する。

（了）

季節御料理

柳川　一人前　金二十五錢より
うな丼　金三十五錢
蒲燒　金五十錢
　　金五十錢より

右大々勉强出前迅速
◎滋養豐富！風味美味！
是非一度御試食を……
大蒲燒・鳥料理
壽司・折詰仕出し
魚榮
田町（電話四二四番）

正確な時計
平一常磐屋時計店
お客樣本位の……
鏡眼の適好

專門
產婦人科
花柳病科
◎入院應需
井坂醫院
平町田町　電話五五九番

正札堂の……夏服
黑セルセビロ上下　六圓ヨリ
バンピースセビロ上下　八圓五十錢ヨリ
ポーラーセビロ上下　九圓ヨリ
ポーラー最上品三ツ組　拾八圓五十錢
白ズボン　七拾五錢ヨリ
正札堂洋服店
電四三六

齒科
東京醫學士　中村文一
平町鍛冶町　吉田呉服店西隣

本山川根　本場新茶入荷
一斤に付　四〇より　二、〇〇〇まで
新家庭用ほうじ茶
斤　六〇　四半斤　一五錢
斤　四〇　〃　一〇錢
御家庭用
京清水燒
御前茶器
番茶器
組三〇錢より
在荷豐富
香味本位の本場銘茶を召上りませ
電三九六番
平町三丁目
大勝園

# 平町は……地名通りでない

## 此の學校等高い處にと　矢野新校長語る

昨報平商業學校新任校長として着任された矢野泰次郎氏を訪へば元氣で左の如く語る

『平は初めてですが名前に反し此の學校等高い處に在るのには驚きましたよ、校長としての勤めは此度が初めてで未だ少しも落付いた氣持になれず何から手を出してよいやらさつぱりわかりませんいづれ其の内馴れて來たら色々頭に浮ぶでせうから其節發表します』

## 矢野校長

### 平商で披露式

平商業學校にては本日午前十時より講堂に於て新任校長矢野泰次郎氏の披露式を擧行した

# 豚の値上りに

## 賣急いだ農家は今更ら乍ら落膽

石城郡下養豚の最も多い捌け口である東京市場の取引相場は去月初旬頃諸物貨安と供給過剰の爲め五割方の慘落を見たので賣り急ぎのあせりを見せて豚の投賣をなす者續出した處去月半頃の茨城、千葉等に於ける豚コレラ發生の爲め品不足を告ぐるに至りポツ〳〵高値を呼び現在では東京市場で二割方の騰貴を來して居るので前に投賣した農家では非常な失敗を見て居ると

## 豚取引

### 東京市場視察

石城郡磐崎村養豚組合員は東京市場の取引視察の爲め組合員が出張する事となつたので來る九日午後一時より村役場に於いて視察員決定の幹部會を開くと

## 屠畜狀況

### 豚が最も多い

平屠蓄場に於ける去月中の屠蓄數量を見ると豚の百廿一頭（肉量五千八百五十三キロ）が最高で牛は二頭（肉量六百四十三キロ）馬が三頭（肉量二百八十九キロ）であると

## 職員身体檢査

磐城中學校及び磐城高等女學校にては來る十八日縣學校衛生技師小野寺氏に依り各々職員の身体檢査が行はれる

## 平商職員勝つ

平商業學校職員對世界館チームの野球戰は昨日午後二時より平商グラウンドに於て開催十三對八のスコアーで平商職員大勝した

## 三ケ月の生花講習

既報平女子青年團主催生花講習會は來る十六日の土曜日より向ふ三ケ月間に互り毎週土曜日に平第二小學校作法室に於て開く事になつた因に會費は一ケ月五十錢出席は方部幹事迄申込まれたいと

# 三ケ月に亘る職業紹介成績

## ◇……學力と出身地

平職業紹介所で本年四月より六月迄三ケ月間に取扱つた紹介成績に依ると左の如く

| | 求人 | 求職 | 就職 |
|---|---|---|---|
| 男 | 一五六 | 二八五 | 一一四 |
| 女 | 四九 | 五四 | 二六 |
| 計 | 二〇五 | 三三九 | 一四〇 |

であるが求職者の學力は中學校及び高等女學校卒業が五名、同半途退學が七名、中等程度卒業が十三名、同半退學が四名、高卒が百四十二名、半退十六名、尋卒が八十六名、半退五十七名無學者が七名で出身地は本縣外二十一縣に亘り本縣の百九十七名を最高として宮城二十九名、茨城の二十三名、新潟、山形の各十八名栃木の十名等が多い方である

# 共濟委員後援の助成會組織打合

## 資金募集の方法を講ず

救護法に依る平町共濟委員の後援事業とし新らたに助成會なる團体を組織し會員を市民一般より求めて活動せんとする計劃は既記の如くにて來る七日午後七時より町役場會議室に於いて是れが打合會を開會し助成會組織及び同會資金の募集方法等に就き協議を行ふと

## 平第二が……舞踊の夕

平第二小學校にては學校と一般保護者の親しみを增す試みとして今月下旬頃父兄を招待し講堂に於て舞踊の夕を開催すると

## 農業技術協議

平穀物檢査支所長松本己之次、石城駐在農業技手米山耕平の兩氏は明六日縣農會にて開催される縣下農業技術員協議會出席の爲め本日午前八時五十分平發列車にて出福した

# 磐女生の操行査定

磐城高等女學校にては本日午後一時より全校生徒の操行査定會を開いた

## 平町人事

回出生

△十五丁目一二兒山達二氏長女ナツ子

回死亡

△鎌田町二五當時石城郡內郷村字廣畑五二鐵起兵治（八一）

△搔槌小路五當時朝鮮京釜線芙江驛京橋ノブ（四五）

△十五丁目一二　兒山ナツ（一ツ）

貴金屬　時計及眼鏡類　懷中電燈　キミガヨ電氣　ランプ特約店
高橋時計店
平町搔槌小路

市原醫院
平町田町
電話一一四番

傘ソルと日傘
美影點の傘日とルソラパ・頭街の日麗
平四　ヤルツ　電一四〇

堂々……斯界の群を拔く
最高級車プリモス號
今般增車致しました
何卒御用命は
電話三九五番へ
セリザワタクシー

夏の御調髮は是非どうぞ……
明るい感じ！清々しく
電氣バリカンの爽快な刈込み
氣持よいシャンプー電氣アイロン
電氣マッサージの上品な仕上げ
□キツト皆様の御氣に召すで御座いませう。
そして……御上品にと心を籠めてお刈する當理髮舗の優秀なる御調髮をゼヒ一度御試めし下さい。
石崎理髮店
平田町（電話一八八番）

# 幼い女生徒等が病院を訪問して

## 優しい慰めの花束を贈る

## 可憐な成績品も添えて！

## 平第二小學校の美しい花祭りに

花の如く美しく、花の如く優しかれと平第二小學校にては來る七日午前八時より講堂に於いて花の精を祭る「花祭り學藝會」を催すは既記の如くであるが當日此の會が終ると尋常科四年生以下の可愛い生徒等が手に花束を持ち先生に引卒されて平町各病院に入院して居る患者達を訪問し花束に添えて左の如き文面の手紙と共に圖畫、書方、手工品何れも可憐な手に成れる成績品を贈り病床に在る氣の毒な人等への優しい慰めとして溫い同情を寄せる由

此の世の中に花ほど美しいものはありますまい、それもその筈花は神の綺麗な御心をあらはしたものなそうです、此の綺麗な花を見誰一人不快な心を起す人はないでせう、實に花は地上の萬物を淨化し人の心を美化し善化しそうして人として大聖の心に導きます、昔から「花を賞する者に惡人なし」といふて居りますが此の世の萬人が花の樣な綺麗な美しい心を持つならば世にうらみもなく、爭へもなく所謂極樂境に變ることでせう、それ故私共は一時でも此の花の心を心として世渡りをしたいと思ひます、我平第二小學校では七月七日の日を花祭りと定めて花の精を祭つて綺れいな花を澤山飾つて其中で終日樂しき學藝會をする事に致しました、そうして此の飾つた花をば皆樣の樣に御不幸にも病床にあらるゝ方々に御贈り申上げ御心を慰め一時たりともなやみを御忘れになり御疲れを醫すことが出來ればと思ふのであります、どうぞ此花を御覽になつて一日も早く御なほりなさる樣神かけて御祈り致します

## 燕のお千代に

## 懲役三年求刑

### 買受けた男は八ケ月

### 昨日第一回公判

既報石城郡內郷村大字宮字金坂五十二番地佐保松太郎內縁の妻無職燕のお千代事森田ちよ（五〇）が昨年十月頃より本年三月下旬迄數十回に亘り同村古着商大竹タカ方外十七ケ所より衣類、反物百五十四点此價格七百二十九圓を窃取したる窃盜事件及び同町野菜商野澤磯吉（四五）が昨年十月頃より本年三月迄自宅に於て右森田ちよが窃取した衣類、反物二百点此價格三百圓分を買受けたる贓物故買事件の公判は昨日午後二時より平區裁判所に於て中島判事係市川檢事立會の下に公判開廷され檢事より森田ちよは懲役三年、野澤磯吉は懲役八ケ月の求刑あつたが言渡しは來る十一日午前九時である

## 泥醉漢が……旅館に亂入

### 手當り次第に取つて投ぐ……

昨夜十一時頃二丁目佐野屋旅館に一名の泥醉漢が闖入勝手に二階へ上らんとしたので家人が引止めた處戸棚の茶椀類を投付けた揚句主人の腰塚小彌太に打つてかゝり大立廻りとなつた處巡廻の平署員が本署に引致取調ると同人は石城郡四倉町新町二〇中野豊重（二六）で酒癖惡く前にも新川町方面で泥醉暴行した事があり嚴重說諭の上放還した

## 職を探しに少年の家出

石城郡內郷村宮字御殿山坑夫本田龜三郎三男英次（一九）は去月四日頃迄磐崎村で土工夫を働いて居たが給料の不拂が多い爲め東京で勞働の口を探さうと去る四日午後六時頃親父の金七圓餘を持出し無斷家出したので父親から平署へ捜査願出た

## 爆音に驚いた馬が

### 自動車と衝突即死

石城郡上遠野村字根岸地內縣道にて四日午後二時頃安積郡永廣村字笹川瀧田安夫方運轉手矢吹兼治（二二）の運轉するトラックの爆音に驚いた同村下根岸石井作太郎所有の牝馬は突然道路に飛出し同トラックと正面衝突

## 明日のラヂオ

放送局

### 今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間 童話劇「若草」童話劇協會
▼後六、二〇 コドモの新聞 村岡花子
▼後六、二五 カレントトピックス ハロルドバーマー
▼後七、三〇 講演「青年と勞働」倉敷勞働科學研究所長文學博士相原葆見
▼後八、〇〇 新民謠「薄衣小唄」岩手縣薄衣町逓中
▼後八、二〇 浪花節「熊谷と敦盛須磨の浦風」吉田日の丸
▼後九、〇五 新內「八重露浪花濱荻」富士太夫 滿洲より
▼後九、三一 滿洲より
▼後九、四〇 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

### 明日の部

▼前九、一〇 料理献立「牛肉の味噌漬」松本良雄
▼前一〇、三〇 家庭講座
▼後〇、〇五 二絃琴 藤舍芦水外
▼後二、〇〇 家庭大學講座「現代と基督教」（終） 塚本虎二
▼後六、〇〇 子供の時間 長唄「五條橋」伊藤英三（八才）三味線杵屋和歌安
▼後六、二〇 コドモの新聞 村岡菊子
▼後六、二五 カレントトピックス ハロルドバーマー
▼後七、三〇 講演
▼後八、〇〇 三曲「茶の湯音頭」「松風」大沼多美井外
▼後八、三〇 長唄「多摩川」春千代外
▼後八、五〇 浪花節「勤王美談多治見國長」吉田日の丸

### 天氣豫報

今晩は南東の風曇り明日は南東の風曇り午後には驟雨あります

## 即死した

### 度量衡の違反

石城郡內郷村宮字金坂雜貨商元部松次郎（五五）は去る二日商賣用ハカリの釣糸が切れたのを勝手に修繕して使用して居た事駐在所員に發覺度量衡違反として取調らる

## 平商考査終る

平商業學校に於ける全校生徒に對する一學期の考査試驗は明日を以て終を告げるが其結果成績不良生徒に對しては二學期始めに父兄を呼出し各々注意を與へ善後策を講ずると

## 天津教會の寶物を研究

### 磐中校長一行がけふ磯原へ出張

磐城中學校々長橋本文壽、教頭齊濟榮一、歷史主任廣田德行の三氏は本日平發八時四十五分で茨城縣磯原町天津教會に藏されてある門外不出の寶物を觀覽研究すべく出張した

### 平職業紹介所報告

回 求人の部

△子守 五十才迄 尋卒 月三圓（平町某）
△女中 二十才迄 高卒 給料面談（平町某）
△外交員 二十五才以下 高卒給料面談（平町某）

回 求職の部

△外交員 二十二才 高卒 給料面談（千葉縣某）
△女中 二十六才 尋卒 給料面談（平町某）
△小使 三十三才 高卒 給料面談（神谷村某）
△雜夫 三十三才 尋四修 給料面談（渡邊村某）

# 藤太郎劍法

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第九十三席　眞庭念流達人櫻井五助

角一から喧嘩狀
岩手の角一は苦い顔をして
角『若いの、能く受けてくれた、今小判で耳を揃へて渡してやる、混ぜ金で渡したく無え』
藤『小判には及ばねえ、遣へる金なら混ぜ金で結構だ』
角『然うか、デハ受取れ』
小判二歩金一歩金などを加へて千兩出した、他の客はそれを見て
○『どうだ偉い奴があるものだ、十兩の資本で千兩にしたぞ何といふ運のいゝ奴だらう』
とあきれて居る、藤太郎はニコ〳〵笑ひながら金を見てゐるが
藤『千兩と來ると却々數があるナ、併し何時見ても金程愛嬌のあるものは無え、どんな無口な無愛想な奴でもこれを見ると笑ひ顔を見せるからナ、それは宜いが千兩入れる物が無え、ウム宜いものがあつた』
と云ひながら股引を脱いで五百兩づゝ兩方に入れて其の先を括り
藤『恁うして置けば落す事はなからう、イヤドウモイショ』
振分けにして肩に掛け
藤『ドレ歸らうか』
賭場を出ようとした時角一の子分民藏と云ふ者が
民『オイ客人、少し待つてくれ』

藤『何ぞ用かね』
民『はぐりを打つてくれ』
と云つたは何程か金を置いて行つてくれといふ事です
藤太郎是を聞くと鼻の先でフヽンと笑ひ
藤『何だはぐりを打てと、馬鹿な事を云ふナ、割のチョボ一に寺錢を置くほどまだ悪様はしねえ、俺を誰だと思つてゐる上州藤岡の火の玉慶助の子分で藤太郎だ、甘く見ると飛んだ事が出來るぞ』
云ひ捨てゝ出て行く、藤岡の慶助の子分藤太郎と云へば角一の兄弟分雨傘の幸次を殺した奴
角『ヤイ藤太郎を逃すナ』
○『合點だ』
と飛分した十五六人
○『藤太郎待てッ』
と行手を塞いだ
藤『何をしやアがる』
と云ひながら金の入つたこ
彼の股引を取つて胴へ卷付
脇差へ手をかけた其時
○『ヤイ汝は雨傘の幸次を殺したナ、一家の敵だ覺悟をしろ』
抜きつれて斬つてかゝる
藤太郎も脇差の鞘を拂ひサア來いと暴れ廻つたが、元より大膽不敵な奴白刃を見てもビクともしない、脇差を無法に振り廻す、それが爲に角一の子分は近寄る事が出來ない、その隙を見て藤太郎は一散に逃げ出したそれ押へろ、斬つてしまへと追かける、藤太郎は一生懸命胴に卷付けた股引を押へて逃げたが人間の一心は恐ろしいもので、この重量のあるものを卷付けたまゝ途に此處を斬拔けてしまつのた、そこで岩手の角一が兄弟分の一柳彌右衛門、廣澤の兵右衛門、妙義の雷藏なぞに藤太郎の來た事を告げて藤岡の慶助の許へ喧嘩狀を付けた、其の趣意は雨傘の幸次を殺した藤太郎を一言の挨拶もなくこの場所に足を入れさせるとは我々を踏付けにした所爲であると云ふ、さアこの喧嘩狀を受取つた上は慶助もその儘には捨置けぬ、此處に來てゐる兄弟分に沙汰をして時日を極めて生死を爭ふ事にして身延山下大野の宿に血の雨を降らす樣な大事を惹起した、お話は一轉して大野の出雲屋佐兵衛方に逗留した秋山要介に林藏其他秋山の門人岸丈右衛門に藤藏に周作、要介はこの三日間開帳した賭場の上り高の内何分と云ふ利益を受取る、シテ見れば秋山にはこの三日間は大野の宿に金の生る木が植付けられたやうなもの、朝から酒ばかり飲んで居る、スルと二日目の八ツ頃であつたか、ワッと云ふ人聲が聞えたかと思ふとバタ〳〵商人家で戸を下す音がした、同時に往來は消魂しき足音、秋山は盃を下に置いて
要『何んだ、何事である、丈右衛門見て參れ』
と云ふと岸丈右衛門が立上つた途端、梯子を驅け上つて來た一人の若者
若『先生お在になりますか』
要『オー秋山は居るぞ』
若『御免下さいまし』
要『民藏か、大層勇しい扮裝をして居るが喧嘩でもあるか』
民『親分角一の口上を有つて出ました』
要『何んだ角一が如何いたした』
と急しく問ふ


看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

梅毒　淋病
淋病
皮膚病
婦人病
十二指腸虫病
專門
松村醫科院
胃性腸病
平南町三
電話一七〇

貸切の●●
御用命は？
獅子吼（シシク）（四四九）ノ勢（イキホイ）デ
眞先（マッサキ）ニ……（マッサキ）
三九二（ミクニ）タクシーへ!!!

外科
花柳病科
專門
木村外科醫院
■入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

御料鹽（コーン）豚（ポーク）
田町三二三屋
電話三二三番